

式を行う。

- 17) 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差とする。
- 18) 降雨等により試合が中止になった場合、5回を過ぎればゲームは成立する。
- 19) 用具は、全て全日本軟式野球連盟公認のものとする。捕手はマスク・レガース・捕手用ヘルメット・プロテクター・ファルカップを着用すること。捕手用ヘルメット・マスク一体製品は使用禁止とする。また、打者、次打者、走者、ベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。
- 20) 監督が1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。なお、タイブレーク方式では1イニングに1回とする。
- 21) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は3回以内とする。監督と共に行った場合は双方1回とする。なお、タイブレーク方式では1イニングに1回行く事が出来る。
- 22) 攻撃側のタイムは1試合3回以内とする。なお、タイブレーク方式では1イニングに1回とする。
- 23) 投手の投球数制限は、1日70球イニングまでとする。ただし、タイブレーク方式に入った場合、投げる事ができる投手は直前のイニングを投げ切った投手か、その日1球も投げていない選手に限ります。この場合も、1日70球を限度とします。
- 24) 試合は時間制限のため、スピード化に協力すること。
 - ①攻守交代はかけ足を実行すること。
 - ②打者は速やかにバッターボックスに入ること。
 - ③サインはできる限り短くすること。
 - ③攻守交代時に最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。

1塁留

※コロナの判断 ... 支部長判断、打者は1塁留に転移